

様式 2

教科
体育

種目
保健

発行者
2 東京書籍

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力をバランスよく育成できるように、各項が「ステップ1（気づく・見つける）」→「ステップ2（調べる・解決する）」→「ステップ3（深める・伝える）」→「ステップ4（まとめる・生かす）」で適切に構成されている。 ・保健の内容について系統性のある指導ができるように、「つなげよう」マークが随所に設けられ、小学校の保健における他学年との関連が適切に示されている。 ・主体的・対話的で深い学びができるように、「ステップ1（気づく・見つける）」で児童の気づきを引き出し、課題意識を高めた上で、「ステップ3（深める・伝える）」では、そこまでの学習を踏まえて「考える」「説明する」「話し合う」「ほかの人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書く」などの活動が適切に位置づけられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真などで紹介し、身近な地域の保健活動や保健に関わる職業について調べる活動が適切に設定されている。 ・動画、シミュレーション、ワークシートなどのデジタルコンテンツが用意され、ICTを活用した学習ができるように十分に配慮されている。 ・学習の進め方を各項目の冒頭で毎回示し、授業の見通しをもって学習できるように配慮されている。「個人差」や「自分らしさ」の記載が随所にあり、多様性や個人の価値の尊重に十分に配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量で丈夫な用紙が使用されている。 ・本文はユニバーサルデザインフォントを使用し、文節の切れ目で改行してあり、児童が読解しやすいように十分に配慮されている。 ・巻頭には、保健において今後の自分の目標の記入、学習の進め方の図解、教科書の使い方について記載されるなど、児童の興味・関心を引くように適切に工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気付きから課題提示の設定がされ、自ら課題を発見し主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。仲間と対話的に課題を解決していく活動が設定され、主体的・対話的で深い学びができるように十分に配慮されている。 ・主発問と児童の思考を促す補助発問が効果的に配置され、スモールステップで段階的に思考し学習を進めることができるように十分に配慮されている。

様式 2

教科
体育

種目
保健

発行者
4 大日本図書

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力をバランスよく育成できるように、各項が「見つける」→「考える やってみる」→「まとめる」→「広げる 深める」で構成されている。 ・保健の内容について系統性のある指導ができるように、関連したマークが随所に設けられ、小学校の保健における他学年との関連が適切に示されている。また、発展的な学習内容については、中学校の保健体育で学習する内容も記載されている。 ・主体的・対話的で深い学びができるように、「見つける」で自ら課題を発見することを大切にした上で、「考える やってみる」では、「考える」「話し合う」「調べる」などの活動が適切に位置づけられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域において保健で学習したことを活用できるように、該当箇所に「おうち」「ちいき」マークを掲載している。 ・動画、シミュレーション、ワークシートなどの二次元コードやウェブリングが用意され、ICTを活用した学習ができるように配慮されている。 ・児童が活動する場面では、ジェンダー（社会的な性別）を意識し、男女が同じくらいの数になるように配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量で丈夫な用紙が使用されている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、文節の切れ目で改行してあり、児童が読解しやすいように十分に配慮されている。 ・巻頭には、保健の学習の意義、スポーツ選手のインタビュー、教科書の使い方と1時間の学習の流れについて記載され、児童の興味・関心を引くように適切に工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題を発見し、主体的に取り組み、資料から読み取ったり仲間と話し合ったりするなどの対話から思考を広げて深め、深い学びが実現するように工夫されている。 ・折りこみカードがついていて、緊急の時に電話ができるような持ち歩きができるカードになっている。

様式 2

教科
体育

種目
保健

発行者
50 大修館

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力をバランスよく育成できるように、各項が「ステップ1（学習の見直しをもつ）」→「ステップ2（学習の課題を解決するための活動）」→「ステップ3（学習をまとめる）」で適切に構成されている。 ・保健の内容について系統性のある指導ができるように、関連を示したマークが随所に設けられ、小学校の保健における他学年との関連が適切に示されている。 ・3・4年の巻頭では、保健を学習する意義を自分事として捉えられる内容で構成し、「章とびら」では、著名人を取り上げ、キャラクターとの対話を通して学習内容に興味・関心をもって主体的な学びをスタートさせることができるように十分に配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真などで紹介し、身近な地域の保健活動や保健に関わる職業について調べる活動が位置づけられている。 ・動画、シミュレーション、実験、ウェブサイトなどのデジタルコンテンツが用意され、ICTを活用した学習ができるように十分に配慮されている。 ・資料やイラストを多用して、視覚的にも理解できるように配慮されている。写真やイラストの登場人物は、男女の役割を固定したり、国籍や障害の有無などに基づく差別や偏見につながったりすることがないように十分に配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量で丈夫な用紙が使用されている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、文節の切れ目で改行しており、児童が読解しやすいように十分に配慮されている。 ・巻頭には、保健を学ぶ意義、保健の授業の学び方、タブレット学習の仕方の説明などについて記載され、児童の興味・関心を引くように適切に工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見直しをもち主体的・対話的で深い学びができるような学習過程の工夫がされている。全体を通して健康や安全に関する多様なテーマを取り上げて、幅広い知識と教養が身に付けられるように十分に配慮されている。 ・学習内容に関わる資料を多く掲載し、学習を広げたり深めたりできるように十分に配慮されている。

様式 2

教科
体育

種目
保健

発行者
207 文教社

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各項が「本時の Menu（この時間の見通し）」→「Mission キーワード（大切な言葉）」→「もう一歩先の自分へ この時間のまとめ」で構成されている。「もっと考えよう課」では、学習したことをもとにさらに深く考えるための発展的な活動が設定されている。 ・エピソードでは、学習に関連する内容が記載されている。 ・各時間の終わりには、「もう一歩先の自分へ」として記載する欄があり、各章末の「わたしの〇〇宣言」では、理解したことを踏まえて、自分の考えを伝え合う活動が位置づけられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組をイラストで紹介し、身近な地域の保健活動や保健に関わる職業について調べる活動が設定されている。 ・動画が中心にデジタルコンテンツが用意され、ICTを活用した学習ができるように配慮されている。 ・他者理解の必要性や大切さに関する資料を紹介している。「個人差」や「自分らしさ」の記載があり、多様性や個人の価値の尊重に配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量で丈夫な用紙が使用されている。 ・ユニバーサルデザインに配慮されている。文中のキーワードを太字で示している。 ・巻頭には、目次と各章で使用されているマークの説明が記載されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の学習のめあてや学習内容が簡潔に示され、見通しをもって学習することができるように配慮されている。 ・単元末にこれからの自分の課題を考え表現する場が設定され、自分のこととして捉え、自分自身の課題を見付け、取り組むことができるように配慮されている。

様式 2

教科
体育

種目
保健

発行者
208 光文書院

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力をバランスよく育成できるように、各単元が「1 自分の生活を振り返る」→「2 学習の課題をつかむ」→「3 課題解決に向けて学習活動をする」→「4 学習をまとめる」→「5 自分の生活に生かす」で構成されている。 ・保健の内容について系統性のある指導ができるように、関連を示したマークが設けられ、小学校の保健における他学年との関連が示されている。 ・主体的・対話的で深い学びができるように、初めに自分の生活を振り返り、問題意識を高めてから学習の課題を提示することで、児童が関心を持って主体的に学習に取り組めるようにしている。「話し合おう」や「学んだことを生かそう」の項目で対話的な学習活動が適切に位置づけられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真などで紹介し、身近な地域の保健活動や保健に関わる職業について調べる活動が設定されている。 ・動画、シミュレーション、実験、ウェブサイトなどのデジタルコンテンツが用意され、ICTを活用した学習ができるように配慮されている。 ・文や資料が混合しないように、間に余白を設けたり、線を引いたりしている。成長には個人差があることや、一人ひとりの個性を認め合い尊重することの大切さを理解できるように強調している。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の負担感の軽減のために、紙の厚みを抑えて適切に軽量化が図られている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、文節の切れ目で改行しており、児童が読解しやすいように十分に配慮されている。 ・巻頭には、保健を学ぶ意義、教科書の使い方、についての漫画、作家やスポーツ選手のインタビューが記載され、児童の興味・関心を引くように適切に工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている内容を、児童の発達段階や興味・関心に応じて身近な生活との関連を図り、日常生活での実践に結びつけることができるように配慮されている。 ・各単元末の「学んだことを生かそう」で学習内容を自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が自分ごととして学習内容を活用できる構成にしている。

様式 2

教科
体育

種目
保健

発行者
224 学研教育みらい

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力をバランスよく育成できるように、各項が「導入（課題をつかむ）」→「ピース①（自ら取り組む活動）」→「ピース②（対話的な活動）」→「ピース③（活用）」で適切に構成されている。 ・保健の内容について系統性のある指導ができるように、「つなぐ」マークが随所に設けられ、小学校の保健における他学年との関連が適切に示されている。 ・主体的・対話的で深い学びができるように、「ピース①（自ら取り組む活動）」で児童の興味・関心を大切にした上で、「ピース②（対話的な活動）」では、「話し合う」「説明する」「振り返る」「調べる」などの活動が適切に位置付けられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるように、学習したことを家庭や地域で確かめたり調べたりする活動が適切に位置づけられている。 ・動画、シミュレーション、実験、ウェブサイトなどのデジタルコンテンツが用意され、ICTを活用した学習ができるように配慮されている。 ・学習の進め方を各項目の冒頭で毎回示し、授業の見通しをもって学習できるように配慮されている。イラストや図は、男子・女子などの性、外国にルーツを持つ児童などの多様性を尊重し、人数や役割、配色などが固定的なイメージでの表現にならないように配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量で丈夫な用紙が使用されている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、学習課題と本文が明確に区別しており、児童が読解しやすいように配慮されている。 ・巻頭には、教科書の使い方、地域や学校での保健の取組を紹介した写真などが掲載され、児童の興味・関心を引くように適切に工夫されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き1ページで学習の流れや学習活動の全体が一目で捉えやすく、児童にとって学びやすい紙面構成になっている。 ・仲間との対話を通して、自己の学びを深めることができるように適切に配慮されている。

様式2

教科
外国語

種目
英語

発行者
2 東京書籍

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか</p> <p>・何を学ぶか</p> <p>・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年、第6学年ともに8つの単元で構成されている。2～3単元ごとに、既習表現を繰り返し使うことを意図した言語活動の場が設定されている。児童がやってみたいと思うような「目的・場面・状況」のもと、複数単元を通して学習した内容について、伝えたい情報を整理して発表したり伝え合ったりする言語活動が位置付けられている。 ・各単元末に位置付けられた Sounds and Letters を含め、2年間を通じて段階的に「読むこと」「書くこと」の活動が配置されている。特に「読むこと」については、音と文字の関係について、児童の気付きを促すことに始まり、子音と母音それぞれのもつ音の違い、音韻、二文字の特徴的な音など、丁寧に展開されている。第6学年では、Unit7、8 で、まとまった短い英文を推測して読む活動が位置付けられている。 ・聞き取ったことを英語で書く活動、話したことについて英文で書く活動など、領域統合的な言語活動も、2学年を通じて段階的に取り入れられている。 ・第5学年では日本について、第6学年では世界について、という整理で、多様な地域や国とその特徴的な文化等について、各単元で取り扱われている。また、言葉への気付きを促す学習活動が、毎単元取り上げられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年では、Unit4 から Unit6 で学習したことを活用して、「自分が暮らす地域のよさについて、内容を整理して発表する」という言語活動が位置付けられている。 ・各国の食文化や歴史、現在の世界と日本のつながり、環境問題、人権問題について考えさせられるテーマや人物等が扱われているなど、世界とのつながりや多様性に児童が意識を向けられる内容が取り扱われている。 ・第5学年では「日本を訪れた留学生等の視点から見た国内の各地域」、第6学年では「オンラインで海外の小学生とやり取りする場面」という設定で、外国について知ることを通じて自国についても考えることや ICT を活用した学習が促されている。
<p>3 印刷・製本等に関わること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4 版厚さや重さ、ページ数共に適切である。目に優しい色使いや UD 書体の使用など、配慮がなされている。 ・別冊のワードリストが豊富で、話題別になっており、活用への配慮が十分になされているとともに、絵カードや言語活動実施の際使用するカード類も充実している。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意図的・計画的な配列により、既習内容を繰り返し活用して定着を図ることができる構成となっている。「読むこと」についても段階的な指導ができるよう配慮されている。 ・児童が世界と日本の関わりや多様性について考えを広げる題材が取り上げられている。

様式2

教科	種目	発行者
外国語	英語	9 開隆堂

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年8単元で構成されている。第5学年では、聞くことと話すことを中心にした言語活動が、第6学年では、それらに加えて聞いたことや話したことを1～3文程度で書くことが位置付けられている。読むことは各単元に Let's Read が位置付けられ、発達の段階を考慮しながら、2年間を通じて4技能5領域を段階的に育成できるよう、よく配慮されている。 各単元冒頭の見開きには、身に付けたい力を GOAL と活動目標を示している。巻末の「CAN-DO チェック」では、単元ごとに領域及び観点別に自己評価できるようになっている。児童が自己の成長や課題に気付き、主体的に学習に取り組む態度が身に付けられるよう、十分に配慮されている。また、記録に残す評価を行う言語活動には、その観点が明示されており、指導と評価の一体化が図られるとともに、児童用「CAN-DO チェック」と併せて活用することにより、児童と指導者が目標を共有して取り組むことができるよう、よく工夫されている。 他教科等、キャリア教育やSDGsと関連付けた言語活動、日本の観光名所や世界の伝統文化、世界で活躍している人を取り上げた題材が設定されている。教科横断的な学習が展開できるよう配慮されている。 「話すこと〔やり取り〕」や「話すこと〔発表〕」に取り組む際には、他教科等でも扱われている思考を可視化する Let's Try のコーナーを活用できる構成となっており、学び方が身に付けられるようよく工夫されている。さらに、伝え合う内容に焦点を当てた言語活動となるよう、よく配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の Let's Watch and Think や Around the World, Our World で、世界の伝統や文化、生活習慣等を知ったり、自国と比較したりして多様な価値観に気付くことができるよう配慮されている。 音声や映像などのデジタルコンテンツにつながる二次元コードが各単元に複数あり、いつでもどこでも繰り返し学習することができるようになっている。音声に加え、写真や動画などの言語外情報を伴うコンテンツとなっており、多様な学びに対応できるよう十分に配慮されている。 音声から文字の学習への移行が丁寧に進められるようよく配慮されている。英語の音声を聞いて、文を指で追う Let's Listen and Read という学習過程を経て、慣れ親しんだ英語を読む活動に取り組んだり、文の一部を付属の Word Book 等から書き写し、自分の考えや気持ちを表現したりする構成になっている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書と付属の Word Book は A4 判型であり、厚さや重さ、ページ数ともに適切である。日本語の文字は UD フォントが、英語の文字は視認の高い欧文フォントが使用されている。色合いも優しく、明るい配色である。鉛筆で書きやすい紙面である。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の題材が自分や身近で簡単な事柄等が中心であり、伝えたい内容が考えやすい。コミュニケーションの目的や場面、状況が丁寧に設定されているため、既習内容と新しく学んだことを組み合わせながら思考・判断・表現することができ、主体的に取り組むことができるよう、よく工夫されている。 二次元コードや文字学習の過程の工夫により、学習のつまづきを防ぐとともに、自分のペースで学ぶことができるよう十分に配慮されている。

様式2

教科
外国語

種目
英語

発行者
15 三省堂

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成 29 年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか</p> <p>・何を学ぶか</p> <p>・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年は3つの Unit があり、各 Unit は、導入(①HOP 思いえがく)、2～3の Lesson(②STEP 出会う、慣れ親しむ、伝え合う)、まとめ(③JUMP 表現する)という流れで構成されており、段階的に学習しやすくなっている。各 Unit のはじめに児童自身が My Goal を決め、最後にその到達度を振り返るようになっており、主体的に学べるようよく配慮されている。 各 Lesson のはじめには絵で場面や状況を想像したり、理解したりできる Panorama が設定されている。絵中には、キーワードのみ文字で記載されており、自然に音と文字を結び付ける学習ができるよう配慮されている。動画を見ながら場面を理解する Let's Watch、短い文を聞いて内容を理解する Let's Listen というインプットの過程、Let's Speak、Let's Play、Let's Talk というアウトプットの過程の順で活動が仕組まれており、児童が積み上げや成長を実感しながら学習を進めることができるよう工夫されている。 1年間で自分ができるようになったことを振り返るページや、別冊 My Dictionary に記載された2年間の CAN-DO リストにより、各学年や各単元で何ができるようになるのかを理解できるようになっている。 外国語活動からの円滑な接続に資する「英語で言ってみよう」の設定、前学年の既習表現を異なる場面で繰り返し使用できる題材配列等により、慣れ親しみから定着への移行が、よく配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成 31 年 3 月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本を紹介する際のおすすめの場所として白川郷が取り上げられている他、各都道府県の名所や名物、地域の行事やまつりなどの話題が取り上げられており、ふるさと(日本)の文化等について理解するのに十分である。 世界の文化を知る Hello World は、日本の文化だけでなく、他国の文化を知り、日本と比較するために適切である。 学習者用デジタル教科書では、英単語、チャンツ、活動の仕方、会話例、会話の続け方、筆順を確認できる他、字幕、速度変更機能を使って個別最適な学習を十分に進められるようになっている。また、単語ゲームもあり楽しみながら学習できるよう配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学習過程がどの単元でも定位置に配置されており、児童が授業の流れや身に付けようとしている技能を理解しやすい紙面になっている。 別冊の My Dictionary を教科書と併用し、自分の伝えたいことに近いものを探しながら表現できる。また、巻末資料として、ミシン目のついたアルファベットカードや英単語カードがあり、児童が簡単に使用できるように、十分に配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで学習が進められるよう構成されていることや、慣れ親しんだ表現を書き残すことで、できたと実感しながら学習したり、振り返ったりすることができる。 自分で目標を決め、その視点で振り返ることで、主体的な学びにつながるようになっている。また、授業の流れが一定で、英語を専門としない指導者も指導や評価をしやすい工夫がある。

様式2

教科
外国語

種目
英語

発行者
17 教育出版

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか</p> <p>・何を学ぶか</p> <p>・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年は9単元、第6学年は8単元で構成されている。各単元は、映像を見てコミュニケーションの場面を理解し、聞く、歌等で口慣らしをする活動を経て、伝え合う活動を展開する構成となっている。単元の冒頭に単元のめあてが明示されており、また単元末には振り返りのコーナーが設定されているため、見通しを持って学習に取り組むことができるとともに、自己の変容も自覚できるよう配慮されている。 ・各単元末には Final Activity が設定されている。既習内容を活用したり、聞きながら読む、話したことを書くなど技能を統合させたりして取り組む活動となっている。思考力・判断力・表現力を着実に育成できるよう配慮されている。 ・第5学年は中学年の外国語活動で触れたことが想起されるページで始まり、教科学習への円滑な移行の工夫がある。第6学年用の巻末には My Book が作成できるページがあり、小学校で学んだことが中学校での学習につながるようよく配慮されている。 ・国語や道徳の学習で触れた題材が扱われていたり、地図が教材に用いられたりしており、他教科等での学習や経験と関連付けられており、教科横断的な指導が展開できるように工夫されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む町を紹介する活動や、日本の良さを紹介する活動が設定されており、ふるさとや日本を大切に作る心が育まれるように工夫されている。また、他国の文化が紹介されているページもあり、多様性を尊重する態度が身に付けられるような配慮もある。 ・デジタルコンテンツに接続できる二次元コードが随所にある。映像では、同年齢の子供が話している場面が多くある。単元末の活動のガイドとなる映像では、実際に子供がプレゼンテーションを行っているものもあり、児童が学習の見通しを持つことができるよう配慮されている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1見開きあたりの情報量は多くなく、シンプルな紙面である。示された活動も複雑でなく、学習内容が分かりやすい。 ・AB判サイズを採用、識別しやすい配色、ユニバーサルデザインフォントの使用等により、どの児童にも学習しやすい配慮がなされている。 ・付属の単語カードや付録シールなど、楽しく学習できる工夫がある。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4技能5領域の活動が分かりやすく、かつ段階的に展開できる構成となっている。活動がシンプルであり、どの児童も取り組みやすく達成感が得られるように配慮されている。また、文字情報が抑えられていることで、音声や絵や写真等の視覚情報に集中して取り組めるようになっている。 ・掲載されている二次元コードを活用して、動画や音声を繰り返し視聴することができ、学びの機会が増えるとともに自分のペースで学習することができる。

様式2

教科	種目	発行者
外国語	英語	38 光村図書

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成 29 年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも Hop!→Step!→Jump!の3段階で構成される8つの単元で成っている。「聞くこと」を中心とした Hop!で単元への興味をもち、「話すこと」を中心とした Step!で表現に慣れ、Jump!でそれらを活用して言語活動に取り組んだり「読むこと」「書くこと」に取り組んだりすることで、4技能が統合できるように工夫されている。また、各単元の最初には、コミュニケーションの目的・場面・状況が示されており、児童が目的意識をもって学ぶことができるように配慮されている。 ・各学年で教科書が3つのパートに分かれ、各パートの終末には You can do it!のコーナーにパフォーマンステストが示されており、適切な学習評価ができるように工夫されている。児童も指導者と同じ視点で学習を振り返ることができるようになっている。 ・巻頭に5領域の CAN-DO リスト(できるようになること)、巻末に学習の成果が一覧できるシート(All About Me)が設定されており、目指す姿や身に付けた力を明確にすることで、児童の主体的な学びを促す工夫がある。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成 31 年 3 月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に1単元(5年生 Unit8「自分の町の魅力の紹介」、6年生 Unit2「日本の行事の紹介」、ふるさとへの誇りと愛着を育むことのできる単元が位置付けられている。Let's watch and think.や「世界の友達」のページでは、世界12か国の実際の小学生の日常生活や夢に関するメッセージを視聴することができ、多様な文化や価値観に触れ、日本のそれらと比べながら見方・考え方を広げることができるようになっている。 ・第5学年 303 個、第6学年 308 個の二次元コードが掲載されており、アニメーションや実写の活動動画、リスニング音声などを家庭でも自由に視聴することができる。学習者用デジタル教科書は、文字の種類や大きさ、色、行間、紙面の読み上げ速度を児童の実態に応じて自由に変えることができる。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AB型の判型で、裏映りしにくく、鉛筆で書きやすい素材の紙が採用されている。厚さや重さ、ページ数ともに適当である。 ・各単元のレイアウトが統一されており、同じ種類の情報を同じ場所に位置付けることで、学び方が定着するようになっている。見開きページの文字量は必要最低限となっており、児童が負担なく学習できるよう配慮されている。 ・取り外し可能な Picture Dictionary が巻末に挟まれており、書き写したり語彙を探したりしやすいよう配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「話すこと」を中心に、Hop!→Step!→Jump!の順で見開きページごとに学習する仕様となっており、児童が Goal を意識しながら見通しをもって段階的に学ぶことができる構成となっている。 ・ユニバーサルデザインを採用したイラストやフォント、色使い、4線幅となっており、どの児童も落ち着いて学習できるよう配慮されている。

様式2

教科	種目	発行者
外国語	英語	61 啓林館

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成 29 年告示）にかかわること</p> <p>・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年毎に、Pre Unit を含む9つの単元で構成されている。Pre Unit を除く各 Unit は、Unit 扉→Step1、2→Step3→Look Back の順で構成され、見通しをもって学ぶことができるようよく配慮されている。各 Unit の最初に GOAL が示され、単元の終末に Look Back が設定されており、目標と評価のつながりが分かりやすく工夫されている。また、巻末ページには Unit 毎に4技能5領域別の Can-Do List が示され、自分の到達度をチェックする欄があり、主体的に学習に取り組む態度を育成できるよう配慮されている。 ・ Unit 扉では、イラストを見ながら英語を聞き、場面を想像したり人物を探したりするようになっており、音声から導入することを意識した構成になっている。続く Step1、2 では、音声を聞いて表現に慣れ親しんだり、Jingle や Chant でリズムにのせて定着を図ったりする活動が設定されている。聞くことを中心とした活動が丁寧に設定されている。Step3 では、思考力・判断力・表現力を養う言語活動が設定され、他者を意識しながら自分のことについて伝え合うことができるよう配慮されている。 ・ 各 Unit の最後に Let's Read and Write で、フォニックスを取り入れた活動があり、音と文字とのつながりへの気づきを促しながら読んだり書いたりするよう配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成 31 年 3 月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Did you know? のページでは、異文化や外国と日本とのつながりなどを学ぶことができ、児童が興味をもって学ぶことが期待される。さらに、Did you know? プラスでは、SDGs に関連する外国の文化や取組が紹介されている。自分の住む地域や日本の文化等と比べながら学習できるよう工夫されている。 ・ 各単元の活動毎に二次元コードがついており、自宅でも英語らしい音声やリズムに触れながら学習することができる。読み上げのスピードが normal だけでなく、0.5 倍から2倍速まで調整できる。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書は A4版で、巻末には Word List が目的別に分類して配置されている。Unit 毎で使用する絵カードも豊富で、ミシン目を入れて切り取りやすくするなど、授業中に円滑な活用ができるように工夫されている。 ・ 判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮がある。また、固定概念で性の区別をしないことや、男女の社会的役割を平等にすることなどのジェンダーへの配慮が、使用されている写真やイラストから感じられる。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞くこと、話すことを中心に単元が始まり、段階的に定着を図ることができるような明確な構成となっている。また、同じ学習の流れで全 Unit が構成されているため、学習者が見通しをもって学ぶことができる。 ・ 紙面や音声データ等、学習者の様々な特性やニーズに応えられるよう配慮されているとともに、豊富な二次元コード、巻末の Word List や絵カードなど、個別学習にも対応できる。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
特別の教科道徳	特別の教科道徳	2 東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<p>・いじめの場면을直接的に扱う教材と、関連する価値から間接的に考える教材を組み合わせ、さらにコラムを加えて「いじめユニット」を編成している。いじめ防止に関わるユニットとして、全学年同じ時期に配当し、いじめ防止週間や人権週間などに合わせて扱うことができるよう考慮されている。その他「情報モラル」や「安心・安全」「SDGs」などの現代的課題を適切に位置付けている。</p> <p>・全学年と各学年で「重点指導内容項目」を設定し、重点が置かれている「生命の尊さ」は、各学年3教材ずつ、十分に掲載されている。他にも「節度、節制」「親切、思いやり」「規則の尊重」「自然愛護」を全学年の重点と位置付け、各学年で2～4教材配列している。</p> <p>・道徳の学び方や自分の考えを可視化する様々な思考ツールが具体的に掲載されており、児童が物事を多面的・多角的に考えられるよう考慮されている。また、教材文の読み取りに終始しないよう、登場人物等の心の中を説明する文言などが適度に削除されており、児童が多様な感じ方・考え方に会いながら自己を見つめられるような工夫がなされている。</p>
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<p>・岐阜を題材とした教材は、5学年で掲載されている。他地域のふるさと教材を学ぶことを通して、自分の住んでいる地域のよさを見つけたり、大切にしていこうとする思いを深めたりする学習を位置付け、郷土愛を育めるようにしている。</p> <p>・二次元コードは全学年合計で300掲載されており、デジタルコンテンツが非常に充実している。多数の動画資料を通して、人物への関心を高めたり教材の理解を深めたりできるよう十分に考慮されている。朗読音声やスライドショー（紙芝居）が全教材にあり、児童の特性に合わせ教材提示方法を選択できるよう適切に配慮されている。</p> <p>・学習を振り返るアンケートを児童の端末に配信し、蓄積したデータを一覧することで、成長の様子を見ることができるよう工夫が十分になされている。ワークシートは必要に応じてダウンロードして活用できるため、扱いやすい。</p>
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<p>・紙面はA B版で見やすく、ページ数は150～180ページ程度で重量は適当。製本はページが開きやすく、折り目をつけやすい。</p> <p>・文字はユニバーサルデザインフォントの教科書体が使用されている。写真、イラスト共に鮮明で見やすい。</p> <p>・「目次」では、内容項目ごとに教材文をカテゴリー分けして表示している。学習ガイダンスと思考ツールが位置付けられている。</p>
<p>4 総評</p>	<p>掲載された教材文は、読み応えのあるものが多く、考えさせたい場面では、登場人物の心の中の言葉などが情景描写表現などに書き換えられ、児童が自らを見つめられるよう十分に考慮されている。巻末には「学習の記録」欄があり、児童が自らを振り返って成長を見つめるとともに、教師の評価にも活用することができる。</p>

様式 2

教 科
特別の教科道徳

種 目
特別の教科道徳

発 行 者
17 教育出版

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	<p>・いじめ問題と情報モラルを全学年で重点テーマとし、内容項目の異なる二教材を組み合わせ、教材とコラムで構成したユニット教材で学びを広げるよう配慮されている。いじめ問題については、当事者だけでなく傍観者の立場からも考えられるよう配慮されている。</p> <p>・これまで研究や実践が積み重ねられてきた定番教材を大切にしつつ、人権問題やSDGs, LGBTQ や新型コロナウイルス感染症に関する内容など、現代的な課題と向き合う多様な教材を扱っている。</p> <p>・児童が考え、議論しながら、自分の生き方についての考えを深められる発問が位置付けられ、さらに授業で学んだことを実生活につなげて考え生かすよう、配慮されている。</p> <p>・コラムや巻末資料で、道徳的価値や教材に対する理解度を高めたり、道徳性を高めたりするよう、配慮されている。</p>
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること	<p>・ふるさとへの誇りと愛情を育むことに資する教材が全学年に複数ある。岐阜にちなんだ教材は、6年生に杉原千畝を題材とした教材が掲載されている。</p> <p>・二次元コードは全学年合計で346掲載されている。二次元コードでアクセスすることにより、興味・関心を高め、学習前だけでなく学習後も学びを広げる「まなびリンク」が位置付けられ、主体性を養うよう配慮されている。</p> <p>・各教材末に学習を振り返る「学びチェック」欄が設けられ、自由に記述できる。また、巻末には学習を振り返るシートがあり、学期ごとや一年間の成長を実感できるように配慮されている。評価にも活用できるよう配慮されている。</p>
3 印刷・製本等にかかわること	<p>・文字の大きさは各学年に応じて適切である。またユニバーサルフォントが使用され、はっきりと文字を認識できる。低学年では、読み誤りのないよう、分かち書きや文節改行の配慮がなされている。</p> <p>・どの学年にも、巻頭には学びのガイダンスが位置付けられ、巻末には内容項目別の学習内容一覧が位置付けられている。</p> <p>・巻末には学習を振り返るシートがあり、切り取って提出することができるよう配慮されている。</p>
4 総評	<p>これまでの定番教材を大切にしつつ、現代社会に合った多様な課題も扱うよう配慮されている。児童が考え、議論しながら、自分の生き方についての考えを深められる発問が位置付けられ、さらに授業で学んだことを実生活につなげて考え生かすよう配慮されている。また問題解決型学習が掲載され、道徳的価値に根差した問題について児童自ら問題を見つけ、主体的に考え、さらにより深められるよう配慮されている。学習を振り返る欄やシートがあり、学期ごとや一年間の成長を実感できるように、また評価にも活用できるよう配慮されている。</p>

様式 2

教 科
特別の教科道徳

種 目
特別の教科道徳

発行者
38 光村図書

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領 (平成29年告示) にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題」「情報モラル」をテーマにしたユニットが全学年で編成されていたり、中学年以上で「環境」「共生」をテーマにしたユニットが設置されたりするなど、現代的な課題と向き合える教材が十分取り上げられている。正解が一つではない物事について、互いが納得できる考えを見いだす教材もあり、多面的・多角的に考えるための工夫がされている。 ・登場人物に自我関与する学習や問題解決的な学習が展開できるような教材が選定されており、道徳的価値を考えられるよう人物の描き方にも工夫がある。また、全学年を通して「演じて考えよう」が設けられ、道徳的行為に関する体験的な学習から考えを深めたり再考したりすることができる働きかけがある。 ・他の教育活動との関連が巻末に一覧で示されている他、てびきの中にもマークで示されており、学びを広げる働きかけがある。 ・教材の内容項目別の分量については、学年の発達段階が考慮されている。全学年で「生命の尊さ」が重点項目となっている。 ・「考え、議論する」道徳を実現するために、児童の考えの基盤となる教材の道徳的価値に迫る「問い」、自我関与を促す「問い」、学んだことと生活とつなぐ「問い」が設けられている。児童の道徳性の育成に向けて、児童・教師にとって有効な「問い」が示されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと岐阜に関わる教材として、6学年に「杉原千畝」が取り上げられている。伝統工芸の「一位一刀彫」の紹介もある。中学年以上では、日本に伝わる道具や祭り、伝統工芸、各地で取り組む防災活動なども教材として取り上げられている。 ・二次元コードは、全学年で合計164掲載されており、道徳の学びを深め、広げられるような朗読音声や参考資料、動画などが用意されている。 ・巻末の「学びの記録」により、個の学習状況や道徳的な感じ方や考え方を無理なく継続的に見届けられるようになっている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数と重量は、学年段階に応じたものとなっている。サイズはB5判変型で、携帯に無理のないよう配慮されている。 ・印刷は鮮明で、文字はUDフォントを使用している。挿絵も見やすく写真も効果的で、多様性に配慮したUDの工夫がある。 ・目次には4つの視点がよく分かるような色分けや、ユニットの明示、学び方に関わる印などの説明がある。巻頭や巻末には、学びのガイダンスや思考ツールが示されるなどの工夫が見られる。
<p>4 総評</p>	<p>名作資料や感動資料といった教材に加え、現代的な課題を扱った教材、読み物とは異なる形式の教材等が多様に工夫されている。学んだことを次の道徳の学習や日常生活に生かすような教材の構成や配列、発問も工夫されており、児童が主体的に道徳的価値について考えたり話し合ったりしながら、自己を見つめていくような内容や構成となっている。何について考えるのか、どのように学ぶのかが十分に意図された構成であり、学習のてびきにおける発問や対話を促す学び方を示す工夫等も「考え、議論する」道徳の実現につながるものとなっている。</p> <p>児童から考えを引き出し深める学習活動、多様性に配慮した支援等も考えられており、使用上の便宜も図られている。</p>

様式 2

教科
特別の教科道徳

種目
特別の教科道徳

発行者
116 日本文教出版

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題、情報モラルなど、児童自ら問題意識をもって考えられるような現代的な課題にかかわる教材を多く取り上げている。また、教材の最後に書かれている問いかけが多面的多角的に考えを広げられるように工夫されている。 ・読み物教材に加え「ぐっと深める」を位置付けることにより（各学年5教材に設定）、教材に応じた問題解決学習を設定している。 ・「心のベンチ」を全学年に位置づけ、SDGs など他の教育活動との関連が明示された内容が掲載されている。 ・重点としている内容項目はA「善悪の判断」B「親切、思いやり」C「規則尊重」D「生命の尊さ」で、4つの学年で3教材を取り扱っている。 ・教材の初めに主題に関わる発問が位置付いており、主体的に学ぶ工夫がされている。 ・全学年において友達と話し合ったり、役割演技をしたりして考えを深めていくページが位置付いている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの伝統と文化を守るC(15)の教材がどの学年にも2つ取り扱われている。また岐阜県に関わる教材は3年生で「郡上踊り」、6年生では「上村智恵子」「杉原千畝」の2教材取り扱われている。 ・二次元コードが全学年合計で248掲載されており、すべての教材に音声とワークシートが準備されている。目次のQRコードから、一覧のページに移動でき、タブレットのみで学習がすすめていけるよう配慮されている。また、話し合い方、役割演技の仕方など道徳の学び方の動画や、心の中を可視化する「心情メーター」なども必要に応じて活用できるように工夫されている。 ・全学年に別冊の「道徳ノート」があり、すべての教材で学びの振り返りが記述できるようになっている。また、まとめて学びを振り返るページもあり、保護者のコメントも記述できるようになっている。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさは学年に応じて適切である。AB判で文字の間隔などもゆとりのある紙面である。 ・項目ごとの色分けや記号分けで、必要な情報が大変見やすく、ユニバーサルデザインの観点から配慮された作りになっている。 ・別冊「道徳ノート」は持ち帰りができるよう軽量化されている。QRコードで読み取り、タブレット上でも記入できるよう配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱われている教材は、現代的な課題を随所に取り入れながらも、指導者が取り組みやすいなじみのものも多く、児童が考えを深めやすい充実した内容になるよう配慮されている。各教材は、読み深めるだけでなく、道徳的価値について多面的・多角的に考えられるような「道徳のとびら」や、他教科や普段の生活につなげていくページが多く、充実した内容になっている。 ・別冊の道徳ノートにより、道徳性に関わる自己の成長を毎時間記述できるようになっており、学習状況を長期的・客観的に見つめられるよう配慮されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	208 光文書院

調 査 項 目	意 見 書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的課題に対応した教材は、各学年に10程度掲載されている。いじめや命などの重点主題は、2時間連続で位置づけられているとともに、扉ページで発達段階に応じた問いが設定されている。 ・各学年に自我関与教材が35、問題解決・体験教材が2つ掲載されており、全学年にレジリエンスについてのコラムを位置づけ、「自分の心の力」を考えられるように工夫されている。 ・巻頭には、授業後に生活の中で問いについて考えたり実践したりする学び方が掲載されている。教材ごとに「ひろげよう」の発問が掲載されており、学びを広げる視点が十分に位置付いている。巻末の索引には、他教科との関連について各学年に10程度明示されている。 ・例えば「いじめ」については、低学年から高学年にかけて「嫌なことを嫌と伝える」「多様性を認める」「集団での関わりを考える」など、発達段階に応じて考えられるよう、教材を設定している。 ・教材ごとの冒頭と終末の「まとめよう」に、価値項目に関わる発問が掲載されており、教材での学習を通して考えの深まりを生み出すことができる。教材ごとの終末「かんがえよう」は2つの問いが掲載されており、異なる立場で考えたり理由と心情で考えたりするなど、多角的・多面的な議論をすることができる。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとへの誇りと愛着を育むことに資する教材が十分に掲載されている。岐阜県を題材とした教材には、白川郷やギフチョウなどが取り上げられ、岐阜を題材とした教材が比較的多い。 ・2次元コードが全学年合計65掲載されており、動画を視聴することができる。道徳的価値の理解を進めるうえで、視覚的な支援が必要である教材を中心に掲載されている。 ・巻頭には思考ツールが紹介されており、多様な学び方に触れることができる。巻末の「学びの足あと」には「表情」や「心の矢印」を書き込む欄が掲載されており、変容を自覚するための工夫が見られる。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AB判で、紙面にゆとりがある。161～193ページで、ページ数は比較的多い。316～371gで、重量は比較的重い。 ・ユニバーサルデザインフォントが使われている。また、1～3年生はすべての漢字に、4～6年生は当該学年以上の漢字にふりがなが付いており、支援が必要な児童への配慮が十分になされている。1、2年生は分ち書きがされている。1ページ15～17行で、5行ごとに行番号が付いている。 ・目次は見開き1ページに掲載されており、学習の見通しが立てやすくなっている。巻頭の学び方や内容項目には、イメージしやすいイラストを用いており、視覚的に理解できるように工夫されている。索引には「主たる内容項目」に加え、「関連性のある内容項目」が掲載されており、学びを広げる一助になっている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材には発達段階に応じた登場人物や出来事が取り上げられており、児童が関心をもてるよう配慮されている。教材ごとの導入・終末には問いが多く掲載されており、考え議論する学びの手助けとなっている。巻頭の思考ツールや巻末の「学びの足あと」によって、自らの学びや変容を自覚することにつながられる。

様式 2

教科
特別の教科 道徳

種目
特別の教科 道徳

発行者
224 学研

調査項目	意見書
<p>1 学習指導要領（平成29年告示）にかかわること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「共に生きる」や「かがやかせよう いのち」、「未来にむかって」の3つのテーマに合わせて複数の教材がセットになっており、人権や生命等について深く考えることができる。また、多様な見方や考え方ができるように内容項目が配列されている。 ・「深めよう」や「心のパスポート」という、それ以前の学びに関連した問題解決的な学習や体験的な学習が位置付けられており、道徳的価値の理解を深めることができる。 ・他教科との関連が目次にも記載されており、多くの教材において、多面的・多角的に道徳的価値について考えることができる。 ・A「善悪の判断」とD「生命の尊さ」が全学年に3教材ずつ位置付けられている。 ・「考えよう」には、教材の中心発問と、道徳的価値そのものを問い掛ける自己を見つめる発問が位置付けられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成31年3月策定）にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜を題材とした教材は、3年生「すきなことから高橋尚子物語」高橋尚子、5年生「わたしはひろがる」岸武雄、6年生「どんな心が見えてきますか」岐阜市などがある。 ・二次元コードは全学年合計で71掲載されている。各学年において「学びを深めるデジタルコンテンツ」が複数の教材において組み込まれている。そのコンテンツとしては、動画や写真、ワークシート等があり、道徳的価値の理解を深めるために活用することができる。 ・各学年の巻末に「つなげよう ひろげよう」のページが位置付けられている。1年間の学習を通して、心に残った話や出来事、友達や先生の言葉等を見つめることができる。そうすることで、自我関与や他者意識を促すことができる。また、次学年の自分にメッセージを書く欄があり、断片的ではなく継続的に道徳の学習を展開することができる。
<p>3 印刷・製本等にかかわること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版であり、教科書の大きさも重さも適切である。また、ページ数も各学年に応じて適切である。持ち運びにおいても負担軽減となっている。 ・文字の大きさは各学年に応じて適切である。1年生は、文節分かち書きがされている。2年生は、1～3文節分かち書きがされている。また、5行ごとに行番号が付いている。読みやすい工夫がされている。 ・巻頭には、道徳の学習のガイダンスが位置付けられており、学習を進めやすい工夫がある。
<p>4 総評</p>	<p>「共に生きる」や「かがやかせよう いのち」、「未来にむかって」の3つのテーマに合わせて、現代的な課題に応じた教材が位置付けられている。そして、道徳的価値の理解をより深めるために、問題解決・体験学習が設定されている。また、各教材において、道徳的価値について深く考えるための発問が位置付いている。また、各学年の巻末に「つなげよう ひろげよう」のページが位置付けられており、自分自身の道徳性の高まりを実感でき、次学年にその高まりを繋げることができる。道徳性を単年ではなく、複数年で育むことができるように配慮されている。</p>